

憩いの森等区民管理団体

Aさん

- ① 屋敷林の跡地の維持管理
武蔵野のみどりに花壇の彩りをプラス
- ② 石庭の森緑地隣接マンションへの移住をきっかけに屋敷林を守りたくて活動を開始
- ③ 若い人の参加を増やしたい
森やみどりを残すこと

Cさん

- ① 地域貢献をテーマに地域の方々と協力して憩いの森を管理
- ② 4年前の練馬まつりで、みどりのまちづくりセンターから樹林地の管理活動を知って
- ③ 昔に比べて減っているみどりを守り繋いでいきたい

Bさん

- ① 公園の低木の補植（10年間で3,900本）
憩いの森の管理
- ② 平成18年「みどり30基本方針」を受け植樹活動を提案、民有地の植樹活動から補植活動に発展
- ③ メンバーの高齢化・他団体との連携
民間の力を借りた公園の管理活動

Dさん

- ① 上石神井憩いの森を拠点に、みどりを広く捉えて情報発信や活動を実施
- ② 江戸時代から続いた農家（母の実家）の畑・屋敷林が相続でなくなった経験から、みどりのまちづくりセンター支援を受け活動を立ち上げ
- ③ みどりを増やす方法
（気候変動適応につながる木陰をつくる大きな木を育てることなど）

Eさん

- ① 区民に感動を与える花壇をつくる！
- ② 練馬区への引っ越しを機に
緑化協力員に応募、その後花壇活動へ
- ③ 参加者が高齢化、若い人に参加してもらいたい

Fさん

- ① 花壇の植替え活動、ご近所とのコミュニケーションが広がった！
- ② 引っ越しを機に地域のボランティア活動に参加、そこで花壇活動を勧められて
- ③ 「花フェスタ」をやってみたい

Gさん

- ① 公園入口の約9㎡の円形花壇のお世話
- ② つながるカレッジねりま コミュニティガーデナーコース受講
- ③ メンバー高齢化 → 活動の継続
かけがえのない農地の減少

区民協働花壇団体

Hさん

- ① 花壇の植替え（年3回）、通りがかりの人が声をかけてくれることがうれしい！
- ② 先輩から町会活動の責任者を頼まれて花壇管理未経験からスタート
- ③ みどりが地域のつながりを生むことを実感、会議の成果を活動に還元したい

Iさん

- ① プランター花壇のお世話
- ② つながるカレッジねりま福祉部門卒業子どもへの声掛け活動を経て、コミュニティガーデナーコースを受講
- ③ みどりの活動は高齢者の生きがい！

お互いを知るため 自己紹介・活動紹介 をしよう！

- ① いま取り組んでいる活動
（またはこれから取り組みたいこと）
- ② 活動を始めた経緯
- ③ この会議への意気込み
今後考えていきたい課題

Jさん

- ① 保護樹木が6本あるお宅の落ち葉清掃
- ② 定年後に勤務日数が減り、生まれた時間を活かすため、ボランティアに応募
- ③ 所有者が高齢化で管理しきれず、やむなく貴重な樹木がなくなることの危機
保全・管理する方法を考えたい

Kさん

- ① 400年続く屋敷林の落ち葉清掃
- ② 農家さんから聞いた落ち葉、農産物の循環の話に感銘を受けて
- ③ 提案：親子で参加できる場や機会
ネットを見ない人にも伝わる広報

Lさん

- ① 小学校の練馬大根育成ボランティア、豊玉リサイクルセンターでの活動 など
- ② 練馬区への引っ越しを機に
知り合いを増やしたくて登録
- ③ 宅地化される農地と樹林を守ること
循環（落ち葉堆肥、生ごみ・給食残渣の堆肥の活用）

Mさん

- ① 区民協働花壇の団体の活動
オープンガーデンチャイ旅の事務局など
- ② コロナ禍を機に地域の菜園に関わり、花の知識を身につけたくてつながるカレッジねりまを経て団体に所属
- ③ 歴史ある個人邸のお庭を残すこと
気候変動や倒木リスクを踏まえ、みどりを増やすだけでなく、いかに質高く維持管理していくか

Nさん

- ① 人材バンクに登録して1年
南大泉で活動を探したい
- ② 江東区から練馬区に引っ越して、みどりの効果を実感、生産緑地の減少を危機
- ③ 最初の一步を踏み出すために、団体の想いやストーリーが見える情報発信が重要

